

漢字の見方、考え方

今までは、まだ学習したことのない漢字、初めて見る漢字は、先生に教えてもらうか、辞書で調べるかしなければ、読めないもの、分からないものと決まっていた。しかし、形声文字の構成法が分かれば、初めて見る漢字でも、どういう意味を持った、何と読む字か、おおよその見当がつくのです。

こういう学習法で漢字を学習していきますと、推理力が高まり、ほんとうの意味での学力がつきます。なぜなら、ほんとうの学力とは、知識を丸覚えして蓄えることではなくて、既知の知識を活用して、未知の分野を開拓していく力のことからです。

今までのような、がむしゃらに漢字を覚えるような態度、ただ数を多く覚えさえすればよいというような学習法で得られた漢字力は、ほんとうの漢字力とは言えません。

では、漢字をどのように見、どのように考えたらよいのでしょうか。これを事例によってお話いたしましょう。

周	令	弋	辰	寸	龜	圣	蒿
・	・	・	・	・	・	・	・
白	寮	尚	果	寺	監	易	僉
・	・	・	・	・	・	・	・
半	化	肖	未	方	襄	莫	且
・	・	・	・	・	・	・	・
宛	商	章	曼	畐	五	甬	青
・	・	・	・	・	・	・	・
每	翟	奇	非	復	及	俞	主
・	・	・	・	・	・	・	・
音	己	亢	責	包	戔	莫	戔
(112)	辟	臬	艮	者	義	召	喬
一							